

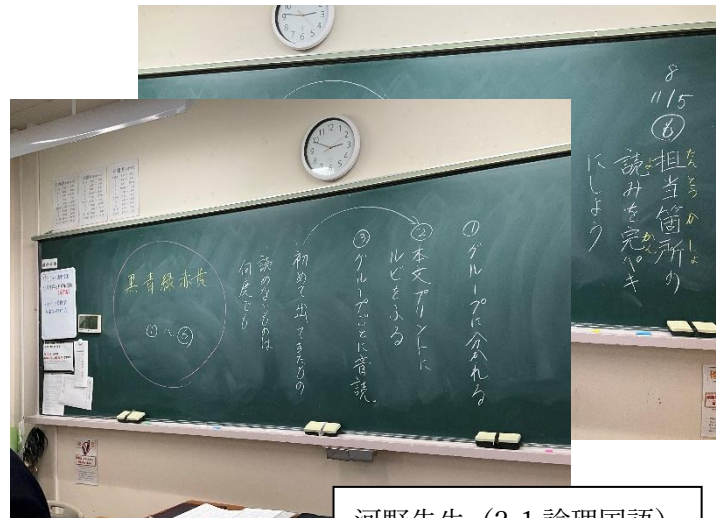
「日々の授業に生かせるヒント集 ～先生方の実践から～」

今回の授業参観では、「本時の目標」と「授業の流れ」が分かりやすく示されている授業が多く見られました。生徒が見通しをもちながら学習に向かう様子が印象的でした。

今回は、金子先生と河野先生の授業をご紹介します。

【ポイント】

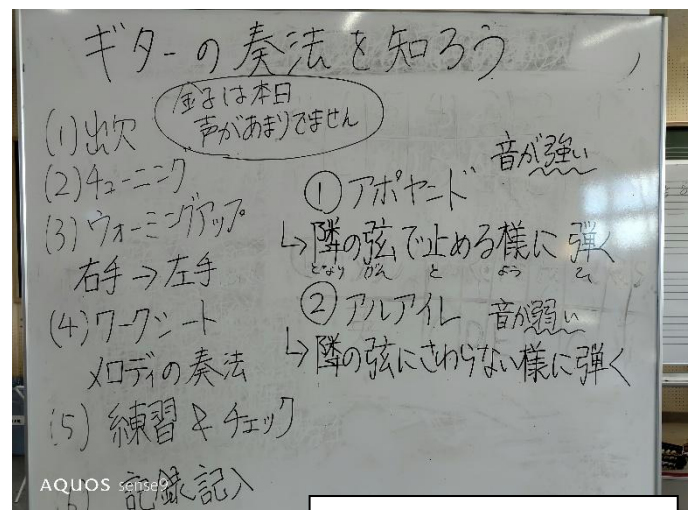
- ①目標がはっきり示されている
→ 生徒が「今日何を学ぶのか」
をつかみやすい。
- ②授業の流れが見える形で示されている
→ 今どこを学んでいるのか分かり、
安心して活動できる。
- ③目標と活動がつながっている
→ 目的を意識しながら
取り組むことにつながる。
- ④生徒同士で目標を確認できる
→ 主体的な学びにつながる。



河野先生（2-1 論理国語）

【みんなで大切にしたいこと】

- ①授業のはじめに、目標と流れを確認する。
- ②板書やスライドなどを使って、進行がひと目で分かる工夫をしてみる。
- ③お互いの授業から良いところを学び合い、「分かる・できる」が広がる授業づくりを続けていく。



金子先生（1-1 音楽Ⅰ）

先生方一人ひとりの実践が、生徒の「分かる」「できる」につながっています。

今回の写真は、そうした日々の工夫の一例です。

今後も、互いの実践を共有し合いながら、授業改善を進めていきましょう。